



Nintendo Switch 有機ELモデルの分解

2021年発売の有機ELモデルと2019年発売の改良モデルを比較し、違いを指摘したビデオです。

作成者: Taylor Dixon



はじめに

このビデオは日本語字幕付きでご覧いただけます。画面右下の設定より日本語字幕を選択してください。

 ツール:

- JIS規格 #000ドライバー (1)
- トライポイントY000 ドライバー (1)
- スパッジャー (1)
- ピンセット (1)
- Heat Pad (1)

手順 1 — リペアビリティ



- Nintendo Switch有機ELモデルは、リペアビリティスコアで10点満点中7点を獲得しています。(10点が最も修理しやすい指標です)
 - 最も修理の頻度が高い、重要なコンポーネントはモジュール化されており、交換が容易です。
 - バッテリーはハウジングに固定されていますが、アクセスや取り外しが簡単です。
 - 新有機ELディスプレイは、本体のエッジ部分にのみ接着されているため、交換は初代Switchと同様に簡単です。
 - Switch OLED内部の変更点には、パーツのモジュール性を低下させるものがあります。
 - 独自に開発された特殊トライポイントネジにより、ユーザーが本デバイスを開口することが制限されています。